

## コンテンツツーリズム書誌 増補 (抄)

佐々木 隆

※この書誌は「コンテンツツーリズム書誌 (抄)」(『ポップカルチャー&若者文化研究』第7号、2021年8月)をもとに、増補したものである。なお、『コンテンツツーリズム論叢』(第1巻～、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 文化資源デザイン研究室、2012年8月)は専門定期刊行物であり、ホームページ上に掲載があるため、ここでは記載しなかった。アクセス先を紹介するのにとどめた。

### [邦文文献]

- 001 天夢人編『旅と鉄道』、山と溪谷社、1971年11月創刊。  
※2009年に休刊後、2011年9月より株式会社天夢人より復刊。  
※主な特集  
鉄道×アニメ 聖地巡礼 2017年5月号  
アニメが描く美しい鉄道 2017年12月号  
寅さんの列車旅 映画「男はつらいよ」の鉄道シーンを紐解く 2018年4月号  
映画と鉄道 2019年1月号  
かわいい鉄道 2019年5月号  
鉄道が走るアニメの世界へ 2019年11月号  
エヴァンゲリオンと鉄道 2021年1月号  
私鉄特急乗りくらべ 2021年5月号
- 002 博学こだわり倶楽部編『[聖地]はここだ。—あらゆるマニアに贈る憧れの名所案内』、河出書房新社、1995年12月  
※まだオタクツーリズム、アニメツーリズム、(アニメの)聖地巡礼、コンテンツツーリズムという用語が出現する以前のもの。[聖地]を「メッカ」と読ませている。
- 003 川本三郎『日本映画を歩く ロケ地を訪ねて』、JTB、1998年8月
- 004 『Junyu 広島・尾道ロケ地めぐり・倉敷・瀬戸内しまなみ海道』、瀬戸田ゲストハウス、1999年8月
- 005 ドラまっぷプロジェクト『TVドラマここがロケ地だ!!』、サンブックス、2000年3月
- 006 齋藤武市・川又昴・福田千秋「小津『東京物語』ロケ地再訪」、『文藝春秋』、第82巻第1号、文藝春秋、2004年1月
- 007 柿崎俊道『聖地巡礼 アニメ・マンガ12ヶ所めぐり』、キルタイムコミュニケーション、2005年3月  
※本書は書名としていわゆるマンガ・アニメのツーリズムとしての「聖地巡礼」を冠した最初のものかもしれない。

- 008 映像等コンテンツの制作・活用による地域振興のあり方に関する調査報告書、  
国土交通省総合政策局観光地域振興課、経済産業省商務情報政策局文化情報関連産  
業課、文化庁文化部芸術文化課、2005年3月  
※コンテンツツーリズムという用語を初めて使用。
- 009 長谷川文雄・水鳥川和夫『コンテンツ・ビジネスが地域を変える』、NTT出版、2005  
年4月
- 010 『観光文化』、特集：ジャパニーズ・クール—日本のポップカルチャーの可能性や如何  
に、第172巻、財団法人日本交通公社、2005年7月
- 011 『ワンダーJAPAN』、創刊号、三オブックス、2005年12月
- 012 李受美『『大河ドラマ』ジャンルの登場と其社会的意味の形成過程』、『東京大学大学院  
情報学環紀要 情報学研究』、70号、東京大学大学院情報学環・学際情報学府、2006  
年1月
- 013 長谷川文雄・福富忠和編『コンテンツ学』、世界思想社、2007年9月
- 014 中谷哲弥「フィルム・ツーリズムに関する一考察—『観光地イメージ』の構築と観光  
経験をめぐって—」、『奈良県立大学研究季報』、第18巻、奈良県立大学、2007年  
10月
- 015 森下剛「マンガ・アニメキャラクターと地域振興に関する研究（1）」、『梅花女子大学  
短期大学部研究紀要』、56号、梅花女子大学短期大学部、2008年3月
- 016 今井信治「表象される聖地—オタクと聖地巡礼」、『宗教と社会』第14号、「宗教と社  
会」学会、2008年6月
- 017 前田大輔・増田愛子「アニメの聖地 巡礼中」、『朝日新聞』、2008年7月26日夕刊
- 018 北大観光高等研究センター「観光立国への挑戦 21 オタクツーリズム 漫画やアニ  
メが原動力に」、『日本経済新聞』、2008年8月19日
- 019 北海道大学観光高等研究センター・石森秀三「視点 日本の観光 48」、『観光経済新  
聞』、2008年8月23日
- 020 「オタクツーリズム」、『日本経済新聞』 2008年11月1日夕刊
- 021 山村高淑「アニメ聖地の成立とその展開に関する研究—アニメ作品『らき☆すた』に  
よる埼玉県鷲宮町の旅客誘致に関する一考察」、『国際広報メディア・観光学ジャー  
ナル』第7号、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院、2008年11月
- 022 『北海道大学文化資源マネジメント論集』、第1巻、北海道大学大学院国際広報メデ  
ィア・観光学院観光創造専攻文化資源マネジメント研究室、2008年12月～2009  
年6月（第15巻）  
※2011年より『コンテンツツーリズム研究』、2012年より『コンテンツツーリズム  
論叢』へ。
- 023 山村高淑「観光新時代の地域開発 観光情報革命と文化創出型観光の可能性—アニメ  
聖地巡礼に見る次世代ツーリズムの萌芽」、『地域研究』、第533号、日本地域開発  
センター、2009年2月
- 024 北海道大学観光学高等研究センター文化資源マネジメント研究チーム編 CATS 叢書



第1号～、北海道大学観光学高等研究センター、2009年3月～

北海道大学観光学高等研究センター文化資源マネジメント研究チーム編 『メディアコンテンツとツーリズム 鷺宮町の経験から考える文化創造型交流の可能性』、第1号、2009年3月

山村高淑・小林英俊・緒川弘孝・石森秀三編 『コミュニティ・ベースド・ツーリズム事例研究～観光とコミュニティの幸せな関係性の構築に向けて～』、第3号、2010年2月

山村高淑・岡本健編 『次世代まちおこしとツーリズム 鷺宮町・幸手市に見る商店街振興の未来』、第4号、2010年3月

山村高淑・岡本健編 『観光資源としてのコンテンツを考える 情報社会における旅行行動の諸相から』、第7号、2012年3月

山村高淑、シートン・フィリップ、張慶在・平井健文・鎗水孝太編 『コンテンツ・ツーリズム研究の射程 国際研究の可能性と課題』、第8号、2016年3月

石森秀三・西山徳明・山村高淑編 『観光創造学へのチャレンジ』、第11号、2017年3月

025 鷹取洋二『瀬戸内シネマ散歩』、吉備人出版、2009年3月

026 増淵敏之「コンテンツツーリズムとその現状」、『地域イノベーション』第1巻、法政大学地域研究センター、2009年3月

027 『観光におけるサブカルチャー—コンテンツの活用に関する調査研究』、財団法人中部産業活性化センター、2009年3月

028 森下剛「マンガ・アニメキャラクターと地域振興に関する研究(2)」、『梅花女子大学短期大学部研究紀要』、57号、梅花女子大学短期大学部、2009年3月

029 谷口重徳「コンテンツを通じた地域振興の取り組みの現状と課題—中国地域を中心に—」、『現代社会学』、10号、広島国際学院大学現代社会学部、2009年3月

030 菊地拓蔵「アニメファンの情報収集からロケ地巡りへ至るまでの仮説モデル」、『季刊地理学』、第61巻第3号、東北地理学会、2009年9月

031 『コンテンツ文化史研究』、創刊～、コンテンツ文化史学会、2009年5月～

032 『まほら』、特集：オタクツーリズム、第60号、旅の文化研究所、2009年7月

033 敷田麻実・内田純一・森重昌之編『観光の地域ブランディング 交流によるまちづくりのしくみ』、学芸出版社、2009年8月

034 井手口彰典「萌える地域振興の行方—『萌えおこし』の可能性とその課題について」、『地域総合研究』第37巻第1号、鹿児島国際大学附置地域総合研究所、2009年9月

035 岡本健「アニメを動機とした旅行行動の実態に関する研究～アニメ聖地巡礼研究および調査の整理を通してから」、『観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集』、観光・余暇関係諸学会共同大会学術論文集編集委員会、2009年9月

036 岡本健「情報化が旅行者行動に与える影響に関する研究～アニメ聖地巡礼行動の事例分析から～」、『日本社会情報学会(JSIS&JASI)合同研究大会研究発表論文集』、日本

社会情報学会(JSIS)事務局・日本社会情報学会(JASI)事務局・広島文化学園大学社会情報学部、2009年9月

- 037 神田孝治編『観光の空間 視点とアプローチ』ナカニシヤ出版、2009年10月
- 038 岡本健「情報文化としてのアニメ聖地巡礼」、『情報文化学会全国大会講演予稿集』、第17巻、情報文化学会、2009年11月
- 039 木村めぐみ「フィルムツーリズムからロケーションツーリズムへ—メディアが生み出した新たな文化—」、『メディアと社会』、第2巻、名古屋大学国際言語文化研究科、2010年3月
- 040 『コンテンツ文化史研究』、特集：コンテンツと場所、第3号、コンテンツ文化史学会、2010年4月
- 041 増淵敏之『物語を旅するひとびと—コンテンツ・ツーリズムとは何か』、彩流社、2010年4月
- 042 岡本健「情報コミュニケーション社会における観光地域経営に旅行者が果たす役割—埼玉県北葛飾郡鷺宮町におけるアニメ聖地巡礼型まちおこしの事例分析から」、『日本情報経営学会全国大会予稿集』、第60巻、日本情報経営学会、2010年5月
- 043 岡本健「コンテンツと旅行行動の関係性—コンテンツ=ツーリズム研究枠組みの構築に向けて」、『観光余暇関係諸学会共同大会学術論文集』、第2巻、国際広報メディア・観光学院、メディア・コミュニケーション研究院、2010年9月
- 044 松浦妙子「コンテンツ・ツーリズムの推進『聖地巡礼』は新世紀の『ディスカバー・ジャパン』か?〜オタクないし新しい視線・発想を契機として生まれる『地域再発見』〜」、『季刊中国総研』、第14号、中国地方総合研究センター、2010年9月
- 045 川本三郎「東京つれづれ日誌(5)北国、鉄道ロケ地めぐり」、『東京人』、第25巻第13号、都市出版、2010年11月
- 046 長谷川恭子「知り隊おしえ隊『ゲゲの女房』のロケ地を訪ねて—深大寺界限のおすすめスポット」、『ノーマライゼーション』、第30巻第11号、日本障害者リハビリテーション協会、2010年11月
- 047 岡本健「CGM 観光情報による旅行行動の再生産メカニズム—埼玉県久喜市および滋賀県犬上郡豊郷町へのアニメ聖地巡礼を事例として」、『日本情報経営学会全国大会予稿集』、第61巻、日本情報経営学会、2010年11月
- 048 『コンテンツツーリズム研究』、第1巻、北海道大学大学院国際広報メディア観光学院文化資源マネジメント研究室、2011年1月  
※第1巻のみ。翌年より『コンテンツツーリズム論叢』へ。
- 049 松沼猛編『萌えコレ! 日本縦断萌えキャラ&萌えおこし総合ガイド』、三栄書房、2011年1月
- 050 谷村要「『コミュニティ』としての「アニメ聖地」—豊郷町の事例から」、『大手前大学論集』、第11巻、大手前大学・大手前短期大学、2011年3月
- 051 山村高淑『アニメ・マンガで地域振興—まちのファンを生むコンテンツツーリズム開発法』、東京法令出版、2011年4月



- 052 岡本健『観光と知能情報』交流の回路としての観光—アニメ聖地巡礼から考える情報社会の旅行コミュニケーション—、『人工知能学会誌』、第 26 号、人工知能学会、2011 年 5 月
- 053 増淵敏之『物語を旅するひとびとⅡ ご当地ソングの歩き方』、彩流社、2011 年 10 月
- 054 小山まゆ子とオタクな仲間たち『コミケの教科書』、データ・ハウス、2011 年 12 月
- 055 佐々木隆「第 3 章 オタクツーリズム」、『オタク文化論』、イーコン、2012 年 1 月
- 056 岡本健「情報社会における旅行者の特徴に関する観光社会学的研究」、博士論文、博士（観光学）、北海道大学、2012 年 3 月  
→ 岡本健『n 次創作観光 アニメ聖地巡礼／コンテンツツーリズム／観光社会学の可能性』、NPO 法人北海道冒険芸術出版、2013 年 2 月
- 057 高橋良俊「アニメコンテンツとツーリズム」、『風景計画学研究』、第 21 号、千葉大学大学院園芸学研究科、2012 年 3 月
- 058 谷村要「アニメ聖地巡礼者の研究 (1) —2つの欲望のベクトルに注目して—」、『大手前大学論集』、第 23 卷、2012 年 3 月
- 059 岩鼻通明「スクリーンツーリズムの効用と限界 『スウィングガールズ』と『おくりびと』事例に」、『季刊地理学』、第 63 卷第 4 号、東北地理学会、2012 年 3 月
- 060 関哲人「ファンあつてのコンテンツ産業?—インターネット上で見せるアニメの広がり—」、『北海学園大学学園論集』、第 152 号、北海学園大学学園、2012 年 6 月
- 061 篠崎正彦・新井勝泰「コミュニティ・オブ・インタレストによる場所性の創出に関する研究—その 2 アニメーションにおける聖地巡礼—」、『日本建築学会大会学術講演梗概集・建築デザイン発表梗概集(CD-ROM)』、日本建築学会、2012 年 7 月
- 062 中路靖編『アニメ・コミック・ドラマ・映画のロケ地めぐりガイド』、学研パブリッシング、2012 年 8 月
- 063 山中弘編『宗教とツーリズム—聖なるものの変容と持続』、世界思想社、2012 年 7 月
- 064 『コンテンツツーリズム論叢』、第 1 巻～、北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院観光創造専攻 文化資源デザイン研究室、2012 年 8 月～  
<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/journals/index.php?jname=271>  
<https://eprints.lib.hokudai.ac.jp/journals/index.php?jname=271&archive=ON>
- 065 星野英紀他編『聖地巡礼ツーリズム』、弘文堂、2012 年 11 月
- 066 鷹取洋二『瀬戸内シネマ散歩Ⅱ』、吉備人出版、2012 年 12 月
- 067 根本忠明「地域活性化とメディア効果 ロケ地めぐりから聖地巡礼まで」、『経営情報学会 全国研究発表大会要旨集』、経営情報学会、2013 年
- 068 岡本健『n 次創作観光 アニメ聖地巡礼／コンテンツツーリズム／観光社会学の可能性』、NPO 法人北海道冒険芸術出版、2013 年 2 月
- 069 経済産業省「コンテンツ産業の現状と今後の方向性」、参議院事務局企画調整室『経済のプリズム』、第 110 号、参議院、2013 年 3 月

※「図表1 コンテンツツーリズム関係文献の推移」

- 070 筒井隆志「コンテンツツーリズムの新たなる方向性～地域活性化の手法として～」、  
参議院事務局企画調整室『経済のプリズム』、第110号、参議院、2013年3月
- 071 『大洗ガルパン・トラベル・ガイド～ガルパン聖地巡礼の手引き～』、廣濟堂出版、  
2013年11月
- 072 土居豊『沿線文学の聖地巡礼—川端康成から涼宮ハルヒまで』、関西学院大学出版会、  
2013年10月
- 073 門野理「マンガ・アニメと地域活性化『聖地巡礼』と地元の取り組み—滋賀県豊郷町」、  
『地域開発』、589号、日本地域開発センター、2013年10月
- 074 谷村要「マンガ・アニメと地域活性化 ファンが『聖地』に求めるもの」、『地域開発』、  
589号、日本地域開発センター、2013年10月
- 075 岡本健「マンガ・アニメと地域活性化 コンテンツツーリズムの可能性と課題」、『地域  
開発』、第589号、日本地域開発センター、2013年10月
- 076 柿崎俊道「マンガ・アニメと地域活性化 アニメと地域を結ぶプロデューサーの役割」、  
『地域開発』、589号、日本地域開発センター、2013年10月
- 077 岡本健「消費社会における観光と国土へのまなざし コンテンツツーリズムの景観論  
—アニメ聖地巡礼／拡張現実景観／オタクスケープ」、『ランドスケープ研究』、第77  
号、日本造園学会、2013年11月
- 078 聖地巡礼委員会編『アニメ探訪 聖地巡礼ガイド』、カンゼン、2013年12月
- 079 「ゲーム『戦国 BASARA2』キャラで登場 片倉小十郎に熱視線」、『河北新報』、2013  
年12月15日
- 080 酒井亨・越田久文・吉田一誠「アニメ映像の視覚的演出手法とその舞台地への集客に  
関する試論～『花咲くいろは』と湯涌温泉を例にして～」、『金沢学院大学紀要 文  
学・美術・社会学編』、第12号、金沢学院大学、2014年3月
- 081 水尾衣里「高速道路と地域活性化 クールジャパンの新しい観光～アニメ聖地巡礼～」、  
『人と国土21』、人と国土、第40号、2014年5月
- 082 岡本健監修『神社巡礼 マンガ・アニメで人気の「聖地」をめぐる』、エクスナレッジ、  
2014年5月
- 083 金石明日香「アニメーションを観光コンテンツとして活用する地域 ITS の可能性」、  
『土木計画学研究・講演集(CD-ROM)』、第49巻、土木学会、2014年6月
- 084 ガルパン取材班『ガルパンの秘密』、廣濟堂出版、2014年7月
- 085 由谷裕哉・佐藤喜久一郎『サブカルチャー聖地巡礼 アニメ聖地と戦国史蹟』、岩田書  
院、2014年9月
- 086 増淵敏之『物語を旅するひとびとⅢ コンテンツツーリズムとしての文学巡り』、彩  
流社、2014年9月
- 087 増淵敏之他『コンテンツツーリズム入門』、古今書院、2014年11月
- 088 田中誠也・磯田弦・桐村喬「SNS ログデータを活用したアニメファンの行動分析」、  
『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2015年



- 089 東京ロリィタ倶楽部監修『ロリィタの聖地巡礼手帖 in 東京 お買い物&観光&デエト』、実業之日本社、2015年2月
- 090 臺純子・韓志昊・崔錦珍「日本におけるロケ地めぐり観光研究の動向と用語の整理」、『立教大学観光学部紀要』、第17巻、立教大学観光学部、2015年3月
- 091 安田亘宏「日本のシネマツーリズムの変遷と現状」、『西武文理大学サービス経営学部研究紀要』、第26巻、2015年7月
- 092 今井信治「メディア空間における『場所』と『共同性』—オタク文化をめぐる宗教社会学的研究」、博士論文、博士(文学)、筑波大学、2015年3月  
→ 今井信治『オタク文化と宗教の臨界—情報・消費・場所をめぐる宗教社会学的研究』、晃洋書房、2018年3月
- 093 岡本亮輔『聖地巡礼 世界遺産からアニメの舞台まで』、中央公論新社、2015年2月  
→ Okamoto Ryosuke, Deborah Iwabuchi and Kazuko Enda, translators.  
*Pilgrimages in the Secular Age: From El Camino to Anime*. 出版文化産業振興財団、2019年3月
- 094 岡本健編『コンテンツツーリズム研究—情報社会の観光行動と地域振興』、福村出版、2015年8月
- 095 原真志・山本健太・和田崇編『コンテンツと地域—映画・テレビ・アニメ』、ナカニシヤ出版、2015年12月
- 096 花羅『～アニメ・マンガ等で地域振興・町おこし～コンテンツツーリズム取組事例集 1 主に東日本編』、Strike Hole、2015年2月
- 097 松井圭介「文化ツーリズムと聖地巡礼」、菊地俊夫・松村公明編『文化ツーリズム学』、朝倉書店、2016年3月
- 098 伊藤いずみ「情報の伝達からみる現代の風景の受容」、博士論文、2016年3月
- 099 田中誠也・磯田弦・桐村喬「SNS ログデータを活用したアニメ聖地巡礼者の地域内行動分析」、『日本地理学会発表要旨集』、第89号、日本地理学会、2016年3月
- 100 花羅『～アニメ・マンガ等で地域振興・町おこし～コンテンツツーリズム取組事例集 2 主に西日本編』、Strike Hole、2016年5月
- 101 松平怜也・後藤春彦・馬場健誠「アニメ聖地巡礼を基盤としたまちおこしに関する研究—聖地とアニメまちおこしに関するビッグデータ分析を対象として—」、『日本生活学会研究発表大会梗概集』、第43巻、日本生活学会、2016年5月
- 102 酒井亨『アニメが地方を救う!? 『聖地』の経済効果を考える』、ワニ・プラス、2016年6月
- 103 宮崎祐治『東京映画地図』、キネマ旬報社、2016年8月
- 104 聖地巡礼調査プロジェクトチーム編『経営コンサルタントの見た聖地巡礼ビジネス』、コンテンツビジネス研究会、2016年11月
- 105 花羅『～アニメ・マンガ等で地域振興・町おこし～コンテンツツーリズム取組事例集 3 拾遺』、Strike Hole、2016年12月

- 106 佐々木隆「第7章 コンテンツツーリズム」、『ポップカルチャー論』、多生堂、2016年12月
- 107 和田崇「『映画のまち・尾道』の認知度と観光行動」、『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2017年
- 108 楠見孝・米田英嗣「京作品舞台の旅“聖地巡礼”における没入感」、『日本認知心理学会発表論文集』、第15巻、(Web)、日本認知心理学会、2017年
- 109 石川浩史・高品和寿・鉢嶺実「コンテンツツーリズムによる魅力溢れる地域づくり『大河ドラマ』、『アニメ』、『ロケ誘致』の事例からの示唆」、『信金中金月報』、第16巻第2号、2017年2月
- 110 楠見清・南信長『もにゅキャラ巡礼 銅像になったマンガ&アニメキャラたち』、扶桑社、2017年3月
- 111 秋吉敏・高山毅「アニメ聖地巡礼の活性化を支援するシステム」、『第79回全国大会講演論文集』、情報処理学会、2017年3月
- 112 森裕亮「茨城県大洗町『ガールズ&パンツァー』聖地巡礼調査記」、『北九州市立大学法政論集』、第44巻第3・4号、北九州市立あち額法学会、2017年3月
- 112 伊藤貴明他「マイクロブログにおける「聖地巡礼」行動の分析」、『DEIM Forum 2017 論文集：ソーシャルメディアにおける地理情報』、日本データベース学会、2017年3月
- 113 須川亜紀子「歴女と歴史コンテンツツーリズム」、吉光正絵他編『ポスト<カワイイ>の文化社会学—女子たちの「新たな楽しみ」を探る』、ミネルヴァ書房、2017年4月
- 114 清水希容子・前田和雅・坂本広顕『コンテンツと地域活性化～日本アニメ100年、聖地巡礼を中心に～』、日本政策投資銀行地域企画部、2017年5月
- 115 湯川寛学・佐藤善信「アニメオタクの特徴と(消費行動)の分析『けいおん!』の聖地巡礼行動を中心に」、『ビジネス&アカウンティングレビュー』、第19巻、関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科、2017年6月
- 116 安彦剛志「観光×ICT ICTを活用した地方創生—データからみる聖地巡礼—」、『ITUジャーナル』、第47号、日本ITU協会、WEB ONLY、2017年6月
- 117 清水希容子「コンテンツと地域活性化 日本アニメ100年、聖地巡礼を中として」、『四銀行経営情報』、第157巻、四銀行地域経済研究所、2017年7月
- 118 johnrambo9『「聖地巡礼」 映画のロケ地を旅行—あこがれの映画スターになりきる夢の旅—』、ブイツーソリューション、2017年8月
- 119 山下玲子「聖地巡礼広告が地域イメージに及ぼす影響について」、『産業・組織心理学会大会発表論文集』、第33巻、2017年8月
- 120 佐々木隆「第8章 観光とコンテンツツーリズム」、『国際文化交流の行方』、後編、多生堂、2017年10月
- 121 ABIKO Tsuyoshi「ICT駆動地域活性化—数による聖地巡礼—」、『New Breeze』、第29号、日本ITU協会、2017年10月



- 122 Keiko Kawamata, Noriko Tajima, Kenichiro Kuroiwa, and Toshihiko Miura. "Some Preliminary Notes on the Evolution and Development Process of Japanese Pop Culture Events"、『青山総合文化政策学』、第9巻第2号、青山学院大学総合文化政策学会、2017年11月
- 123 鷹取洋二『瀬戸内シネマ散歩Ⅲ』、吉備人出版、2017年11月
- 124 花羅『～アニメ・マンガ等で地域振興・町おこし～コンテンツツーリズム取組事例集 4 新星録』、Strike Hole、2017年12月
- 125 大方優子・岩崎達也・津村将章「高関与旅行者の関与と行動動機 佐賀県唐津『ユーリ!!!オンアイス』の聖地巡礼を事例として」、『日本観光研究学会全国大会学術論文集』、日本観光研究学会、2017年12月
- 126 花羅『～アニメ・マンガ等で地域振興・町おこし～コンテンツツーリズム取組事例集 5 聖地録』、Strike Hole、2018年1月
- 127 今井信治『オタク文化と宗教の臨界—情報・消費・場所をめぐる宗教社会学的研究』、晃洋書房、2018年3月
- 128 金澤信幸『フォークソングの東京・聖地巡礼 1968-1985』、講談社、2018年3月
- 129 『アニメ聖地 88 Walker』、ウォーカームック No.80、KADOKAWA、2018年3月
- 130 「旅と鉄道」編集部編『完全保存版 アニメと鉄道 鉄道シーンが記憶に残るアニメ』、天夢人、2018年3月
- 131 喜馬佳也乃・坂本優紀・川添航・佐藤壮太「茨城県大洗町における『聖地巡礼』に従事するアニメファンの分析」、『日本地理学会発表要旨集』、第39号、日本地理学会、2018年3月
- 132 本田真裕子「アニメ聖地巡礼を通じた旅行者の地域愛着 岩手県九戸群軽米町を事例として」、『お茶の水地理』、第57巻、お茶の水地理学会、2018年5月
- 133 越後宏紀・小林稔「connectAR:アニメの聖地巡礼のためのARを用いたコミュニケーション支援システムの提案」、『情報処理学会研究報告』、Vol.2018-GN-105, No.12, WEB ONLY、情報処理学会、2018年5月
- 134 喜馬佳也乃・坂本優紀・川添航・佐藤壮太・松井圭介「茨城県大洗町における『聖地巡礼』に従事するアニメファンの分析」、『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2018年6月
- 135 松山周一「『聖地巡礼』を誘発する場所の表象とその特性—『ラブライブ!サンシャイン!!』を事例に—」、『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2018年9月
- 136 岡本健『アニメ聖地巡礼の観光社会学 コンテンツツーリズムのメディア・コミュニケーション分析』、法律文化社、2018年9月
- 137 佐々木隆「第6章 観光とコンテンツツーリズム」、『国際文化交流から文化外交へ』武蔵野学院大学佐々木隆研究室、2018年9月
- 138 「デイ・ナイト『物語に浸りたい』『同じ空気を吸いたい』ロケ地化が呼び起こす観光ニーズと地域活性」、『ファーストコールカンパニー・レビュー』、第1739巻、タナベ経営戦略総合研究所、2018年9月

- 139 佐々木隆「第7章 コンテンツツーリズム」、『ポップカルチャーとオタク文化の微妙な関係』、武蔵野学院大学佐々木隆研究室、2018年10月
- 140 大谷尚之他編『コンテンツが拓く地域の可能性—コンテンツ製作者・地域社会・ファンの三方良しをかなえるアニメ聖地巡礼』、同文館出版、2018年10月
- 141 石川大希・榊俊吾「アニメの聖地巡礼による地域振興について」、『情報文化学会全国大会講演予稿集』、情報文化学会、2018年10月
- 142 平田和久「Society5.0とコンテンツツーリズム」、遠藤薫他編『ともに生きる地域コミュニケーション—超スマート社会を目指して』、東京電機大学出版局、2018年10月
- 143 岡本健『巡礼ビジネス ポップカルチャーが観光資源になる時代』、KADOKAWA、2018年12月
- 144 中村忠司「大河ドラマの舞台地となった自治体の施策について」、『大阪観光大学観光学研究所観光研究論集』、第17号、大阪観光大学観光学研究所、2019年2月
- 145 Okamoto Ryosuke, Deborah Iwabuchi and Kazuko Enda, translators.  
*Pilgrimages in the Secular Age: From El Camino to Anime.* 出版文化産業振興財団、2019年3月  
 → 岡本亮輔『聖地巡礼 世界遺産からアニメの舞台まで』、中央公論新社、2015年2月
- 146 杉本圭吾「アンチ・聖地巡礼 『天体（そら）のメソッド』論」、『層 映像と表現』、第11巻、北海道大学大学院文学研究科映像・表現文化講座、2019年3月
- 147 張曄「日本における中国人のコンテンツツーリズム 安倍清明に関する『聖地巡礼』を事例に」、『立命館大学人文科学研究紀要』、第119巻、立命館大学人文科学研究所、2019年3月
- 148 岡本健編『コンテンツツーリズム研究—アニメ・マンガ・ゲームと観光・文化・社会』、増補改訂版、福村出版、2019年4月
- 149 地域コンテンツ研究会編『地域×アニメーコンテンツツーリズムからの展開』、成堂書店、2019年4月
- 150 今井隆介「風景—動画と背景のシンフォニー」、須川亜紀子・米村みゆき編『アニメーション文化 55のキーワード』、ミネルヴァ書房、2019年4月
- 151 岡本健「町おこし、村おこし—地域振興への活用」、須川亜紀子・米村みゆき編『アニメーション文化 55のキーワード』、ミネルヴァ書房、2019年4月
- 152 須川亜紀子「ファンの受容とファンダム」、須川亜紀子・米村みゆき編『アニメーション文化 55のキーワード』、ミネルヴァ書房、2019年4月
- 153 岡本健「アニメ聖地巡礼、コンテンツツーリズム—現実、情報、虚構空間と旅」、須川亜紀子・米村みゆき編『アニメーション文化 55のキーワード』、ミネルヴァ書房、2019年4月
- 154 佐々木隆「第7章 コンテンツツーリズム」、『ポップカルチャーとオタク文化の微妙な関係 増補版』、武蔵野学院大学佐々木隆研究室、2019年5月
- 155 森裕亮「アニメファンは「よそ者」である」、大曾根寛他編『福社会へのアプローチ



- 久塚純一先生古稀祝賀』、下巻、成文堂、2019年5月
- 156 中村忠司「中国と韓国におけるゲーム産業と日本のコンテンツの現状について」、『大阪観光大学観光学研究所観光研究論集』、第19号、大阪観光大学観光学研究所、2019年5月
- 157 吉見憲二「聖地巡礼のプラットフォームに関する一考察」、『日本情報経営学会全国大会予稿集』、日本情報経営学会、2019年6月
- 158 岩崎達也・大方優子「高関与旅行者としてのアニメ聖地巡礼者の行動分析」、『マーケティング・サイエンス』、第26号、2019年6月  
2015年2月
- 159 岡村直樹『寅さんの「日本」を歩く 寅さんの聖地探訪大事典』、天夢人、2019年8月2日
- 160 佳多山大地『トラベル・ミステリー聖地巡礼』、双葉社、2019年9月
- 161 荒瑞穂・横山ゆりか「アニメ聖地巡礼の分類と観光可能性—近年の新たなアニメ聖地巡礼に着目して—」、『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2019年9月
- 162 清水洋希・近藤誠司「観光復興における“アニメの聖地巡礼”効果分析～茨城県大洗町「ガルパン」の事例から～」、『日本災害情報学会学会大会予稿集』、第21巻、日本災害情報学会、2019年10月
- 163 横田祐季「聖地巡礼を通じたアニメファンの地域愛着と聖地移住のプロセス 『ラブライブ！サンシャイン！！』聖地静岡県沼津市の場合—」、『日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2020年
- 164 宮田佳美・唐士弼・植田薫『『聖地巡礼』と『巡礼ノート』は地域に何を与えるか』、『日本デザイン学会研究発表会退会概要集』、67、日本デザイン学会、2020年
- 165 木全公彦「松竹喜劇の系譜『男はつらいよ』への道のり。』、『東京人』、第35巻第1号、都市出版、2020年1月
- 166 秋野淳一「尾崎豊の歌碑に集う人たち 東京渋谷の『聖地巡礼』」、『都市民俗研究』、第25巻、國學院大學大学院文学研究科民間伝承論講座、2020年2月
- 167 大森寛文・片野浩一他『経験と場所のブランディング 地域ブランド・域学連携・ローカルアイドル・アニメツーリズム』、千倉書房、2020年3月
- 168 大方優子・岩崎達也・津村将章他『アニメ聖地巡礼の行動特徴と地域施策：事例からの考察』、九州大学出版会、2020年3月
- 169 于経天・大西健吾「アニメの「聖地巡礼」による沼津市の経済効果の分析」、『NAIS Journal』、第14号、日本応用情報学会、2020年3月
- 170 横田祐季「聖地巡礼を通じたアニメファンの地域愛着と聖地移住のプロセス—『ラブライブ！サンシャイン！！』聖地静岡県沼津市の場合—」、『2020年度日本地理学会発表要旨集』、日本地理学会、2020年3月
- 171 鈴木凱仁・坂上友紀・国島未来・桑原史朗・安本宗春「アニメによる「聖地巡礼」を目的としたファンと地域との関わり—沼津市を事例として—」、『追手門学院大学地域創造学部紀要』、第5号、追手門学院大学地域創造学部、2020年3月

- 172 津村将章・大方優子・岩崎達也「アニメ聖地巡礼者の特徴 アニメ聖地巡礼者とフィルムツーリズム旅行者との比較」、『Contents tourism review』、第 7 号、コンテンツツーリズム学会、2020 年 3 月
- 173 大石玄「アニメ《舞台探訪》成立史・新訂版 いわゆる《聖地巡礼》の起源と紀元」、『富山県立大学紀要』、第 30 巻、富山県立大学、2020 年 3 月
- 174 村上雅巳「アニメ聖地巡礼における地域活性化の可能性に関する一考察 アニメツーリズムで創造される新たな観光文化」、『Atomi 観光コミュニティ学部紀要』、第 5 巻、跡見学園女子大学、2020 年 3 月
- 175 鈴木凱仁・坂上友紀・国島未来・桑原史朗・安本宗春「アニメによる『聖地巡礼』を目的としたファンと地域との関わり—沼津市を事例として—」、『追手門学院大学地域創造学部紀要』、第 5 巻、追手門学院大学地域創造学部、2020 年 3 月
- 176 董鎧源「ファン活動としてのアニメ『聖地巡礼』 中国のアニメファンの場合」、『社会学研論集』、第 35 巻、早稲田大学大学院社会科学部研究科、2020 年 3 月
- 177 高木今日太「アニメ作品の舞台になった地域における住民意識の地域差—京都府宇治市と静岡県沼津市を事例に—」、『国土舘大学地理学報告』、第 28 巻、国土舘大学地理学会、2020 年 3 月
- 178 清水明久編『ゆるキャン△聖地巡礼ドライブ&ツーリングガイド』、八重洲出版、2020 年 3 月
- 179 佐々木隆「第 6 章 観光とコンテンツツーリズム」、『国際文化交流から文化外交へ増補版』、武蔵野学院大学佐々木隆研究室、2020 年 5 月
- 180 宮田佳美・TANG Shitao・植田憲「『聖地巡礼』と『巡礼ノート』は地域に何を与えるか テレビアニメ『ラブライブ!サンシャイン!!』と静岡県沼津市の事例を中心に」、『日本デザイン学会研究発表大会概要集(CD-ROM)』、第 67 巻、デザイン学会、2020 年 8 月
- 181 谷村要「ファンの「草の根の活動」による「聖地」の形成 秋葉原と「アニメ聖地」の比較を通じて」、『地域活性学会研究大会論文集』、第 12 号、地域活性学会、2020 年 9 月
- 182 東美晴「変容する『観光のまなざし』 明治期のロマン主義から現在のアニメ聖地巡礼まで」、『流通経済大学社会学部論叢』、第 31 巻第 1 号、2020 年 10 月
- 183 崔瑛「アニメ聖地巡礼をめぐる地域側と聖地巡礼者の関係構築に関する研究」、『土木計画学研究・講演集(CD-ROM)』、土木計画学研究委員会、2020 年 11 月
- 184 オウ・イクチュウ、田中伸彦「秩父市におけるアニメ聖地巡礼の築かれ方と受け入れ態勢」、『レジャー・レクリエーション研究』、第 92 号、日本レジャー・レクリエーション学会、2020 年 11 月
- 185 赤沢克洋・古安理英子「コンテンツツーリズムの取り組みの重要度に関する定量分析—ベスト・ワースト・スケーリングによる接近—」、『地域地理研究』、第 25 巻第 2 号、地域地理学会、2020 年 12 月
- 186 栗原景『アニメと鉄道ビジネス キャラクターが地域と鉄道を進化させる!』、交通



- 新聞社、2020年12月
- 187 山元貴継「アニメ聖地巡礼を地理教育に活かす」、『歴史地理学』、第63巻第1号、2021年1月
  - 188 山田義裕・岡本亮輔編『いま私たちをつなぐもの—拡張現実時代の観光とメディア』、弘文堂、2021年2月
  - 189 池田和子「ティーンエイジャーの『聖地巡礼』経験に関するアンケート分析」、『E-journal GEO』、第16巻第1号、日本地理学会、2021年3月公開
  - 190 増淵敏之編『地域は物語で「10倍」人が集まる』、生産性出版、2021年3月
  - 191 『るるぶ ONE PIECE』、ジェイティビィパブリッシング、2021年3月
  - 192 『るるぶアズールレーン』、ジェイティビィパブリッシング、2021年3月
  - 193 玉井建也「物語世界と日常 —『ふらいんぐういっち』を事例として—」、『東北芸術工科大学紀要』、第28号、東北芸術工科大学、2021年3月
  - 194 岩崎達也「アニメ聖地巡礼者の行動分析—関与度と行動動機—」、『関東学院大学経済経営研究所年報』、第43号、関東学院大学経済経営研究所、2021年3月
  - 195 谷村要「アニメ聖地における「キャラ縁」の形成」、『地域活性研究』、第14号、地域活性学会、2021年3月
  - 196 「旅と鉄道」編集部編『完全保存版 アニメと鉄道2 舞台となった鉄道へ』、天夢人、2021年4月
  - 197 山村高淑、フィリップ・シートン編／山村高淑他訳『コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム』、北海道大学出版会、2021年4月  
→ Takayoshi Yamamura and Philip Seaton, editors. *Contents Tourism and Pop Culture Fandom: Transnational Tourist Experiences*. Channel View Books, 2020.
  - 198 春日太一『時代劇聖地巡礼』、ミシマ社、2021年4月
  - 199 森裕亮「「よそ者」のパワー アニメ聖地巡礼現象に見る新たな地域づくりの可能性（第1回）よそ者と関係人口」、『まち・むら』、第154号、自治会町内会情報誌、2021年6月
  - 200 森裕亮「アニメファンは「よそ者」である アニメ聖地巡礼は地域の担い手を生み出すか」、『地方自治ふくおか』、第73巻、一般財団法人福岡県地方自治センター、2021年8月
  - 201 田井浩人「アニメ聖地巡礼者はどのように地域と関わるのか? — ウェブアンケート調査からの接近」、『地方自治ふくおか』、第73巻、一般財団法人福岡県地方自治センター、2021年8月
  - 202 佐々木隆「コンテンツツーリズム書誌（抄）」、『ポップカルチャー&若者文化研究』、第7号、2021年8月
  - 203 森裕亮「「よそ者」のパワー アニメ聖地巡礼現象に見る新たな地域づくりの可能性（第2回）アニメ聖地巡礼とは」、『まち・むら』、自治会町内会情報誌、第155号、2021年9月

- 204 宋思佳・王皓・章立・野田哲夫「地域におけるアニメ聖地巡礼を活用した地域振興の課題と可能性」、『山陰研究』、第 14 号、島根大学法文学部山陰研究センター、2021 年 12 月
- 205 森裕亮「「よそ者」のパワー アニメ聖地巡礼現象に見る新たな地域づくりの可能性（第 3 回）ファンと地域とのアツイ関係 新たなコミュニティの形」、『まち・むら』、第 156 号、自治会町内会情報誌、2021 年 12 月
- 206 森裕亮「「よそ者」のパワー アニメ聖地巡礼現象に見る新たな地域づくりの可能性（第 4 回・最終回）新たなコミュニティ論の展望」、『まち・むら』、第 157 号、自治会町内会情報誌、2022 年 2 月
- 207 谷村要「コンテンツツーリズム現象における「コンテンツ化」を支えるリアリティ 「物語消費論」と「キャラ/キャラクター論」からの理論的検討」、『大手前大学論集』、第 22 巻、大手前大学、2022 年 7 月
- 208 増淵敏之「コンテンツツーリズム再考」、松原宏編『新経済地理学概論』、原書房、2022 年 8 月
- 209 佐々木隆『コンテンツツーリズムを巡って』、武蔵野学院大学佐々木隆研究室、2023 年 1 月

#### [海外文献]

- 001 hinaco『次元突破！動漫迷的聖地巡禮』、台北：平装本出版有限公司、2013 年 2 月
- 002 Anne and Caroline Scarles, editors. *Mediating the Tourist Experience: From Brochures to Virtual Encounters*. Ashgate Publishing, Limited, 2013  
※この文献がおそらく“contents tourism”が英語で紹介された最初の文献かもしれない。
- 003 Sue Beeton. *Film-induced Tourism*. Channel View Publications, 2nd edition, 2016  
※第 2 版で“contents tourism”という表現が登場した。
- 004 Philip Seaton, Takayoshi Yamarua, Akiko Sugawa-Shimada, and Kyungjae Jang. *Contents Tourism in Japan*. Cambria Press, 2017
- 005 Philip Seaton and Takayoshi Yamamura, editors. *Japanese Popular Culture and Contents Tourism*. Routledge, 2017
- 006 Sheela Agarwal, Graham Busby and Rong Huang, editors. *Special Interest Tourism: Concepts, Contexts and Cases*. CABI, 2018  
※contents tourism への言及はない。
- 007 Takayoshi Yamamura and Philip Seaton, editors. *Contents Tourism and Pop Culture Fandom: Transnational Tourist Experiences*. Channel View Books, 2020.
- 山村高淑、フィリップ・シートン編／山村高淑他訳『コンテンツツーリズム メディアを横断するコンテンツと越境するファンダム』、北海道大学出版会、2021 年 4



月

[関連文献]

- 001 アキバ経済新聞編『アキバが地球を飲み込む日—秋葉原カルチャー進化論』、角川マガジズ、2007年12月
- 002 にゃるら『秋葉原 裏の歩き方』、彩図社、2018年1月
- 003 コミケ Plus 編集部編『東京オタク SPOT ガイド』、ビルトランス、2019年3月
- 004 高橋敏也『特濃！あなたの知らない秋葉原オタクのスポットのガイド』、インプレス、2019年3月

[関連情報]

- 001 連続テレビ小説開始
  - ※獅子文六原作『娘と私』、1961年4月3日～1962年3月30日放映
- 002 NHK 大河ドラマ開始
  - ※舟橋聖一原作『花の生涯』、1963年4月7日～12月29日放映
- 003 山田洋次監督『男はつらいよ』シリーズ開始、1969年8月27日封切
- 004 倉本聰脚本『北の国から』、フジテレビ系列、1981年10月9日～1982年3月26日放映
- 005 武内直子原作『美少女戦士セーラームーン』、テレビ朝日系列、1992年3月7日～1997年2月8日放映
- 006 梶島正樹原案・ねぎしひろし監督『天地無用!』テレビアニメシリーズ開始、テレビ東京系列、1995年4月2日～1995年9月24日放映
- 007 Please!原作／井出安軌監督『おねがい☆ティーチャー』、WOWOW、2002年1月10日～3月28日放映
- 008 宇河弘樹原作『朝霧の巫女』、テレビ東京系列、2002年7月3日～12月25日放映
- 009 谷川流原作『涼宮ハルヒの憂鬱』、TOKYOMX、2006年4月5日から7月5日放映
- 010 美水かがみ原作『らき☆すた』、チバテレビ他、2007年4月9日～9月17日放映
- 011 かきふらい原作『けいおん!』、TBS、2009年4月2日～6月25日放映
- 012 観光立国推進基本法施行、2007年1月1日より
- 013 国土交通省観光庁設置、2008年10月1日
- 014 新海誠監督『君の名は。』、劇場公開アニメ映画、2016年8月26日封切
- 015 「聖地巡礼」が「ユーキャン新語・流行語大賞 2016」でトップ10入り
- 016 一般社団法人アニメツーリズム協会、2016年9月設立
  - ※『アニメツーリズム白書』
  - ※『アニメ聖地 88』、Walker、ウォーカームック
- 017 株式会社聖地会議、2016年

※柿崎俊道『聖地巡礼』、聖地巡礼、2015年8月創刊

018 一般財団法人全日本情報学習振興協会主催第1回インバウンド実務主任者認定検定  
試験、2017年7月～